



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <http://www.toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長

(氏名) 井上 豊

TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,729	16.0	8	—	△175	—	△232	—
26年3月期第1四半期	8,390	△4.6	△50	—	104	15.8	58	68.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △356百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 368百万円 (216.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△10.90	—
26年3月期第1四半期	2.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	44,535	9,656	21.5
26年3月期	45,250	10,248	22.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 9,581百万円 26年3月期 10,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,600	13.8	140	69.2	△190	—	△315	—	△14.76
通期	43,000	13.2	800	146.6	350	△54.3	50	△87.9	2.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年8月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	21,350,000 株	26年3月期	21,350,000 株
27年3月期1Q	15,621 株	26年3月期	15,621 株
27年3月期1Q	21,334,379 株	26年3月期1Q	21,334,672 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、輸出が海外経済の緩慢な回復の影響から伸び悩んだものの、国内は、設備投資が企業収益の改善に伴い緩やかに増加、個人消費が消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動を受けつつも雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移するなど、基調的には緩やかな回復が続きました。

しかし、依然として国際情勢不安からの原油高に伴う原材料価格の上昇が続き、企業収益の下押し要因となっております。

このような環境下、当社グループの事業の概況は、売上面は、製品需要が底堅く推移し、前年同期が低調であったこともあり、全セグメントで増収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13億39百万円、16.0%増収の97億29百万円となりました。

しかし、損益面は、国内での収益が原材料高のもとで苦戦する中、東邦化学(上海)有限公司の事業立ち上げに係る経費負担の増加、並びに為替差損の影響もあり、遺憾ながら低調な実績となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の損益は、営業利益8百万円(前年同期は営業損失50百万円)、経常損失1億75百万円(前年同期は経常利益1億4百万円)、四半期純損失2億32百万円(前年同期は四半期純利益58百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用基剤や一般洗浄剤が伸長し増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤は低調でしたが、乳化重合剤が堅調で増収を確保しました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤を中心に増収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、消泡剤等が振るわず減収となりました。農薬助剤は、乳剤用が海外向けを中心に増収となりました。繊維助剤は前年同期並みでした。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比5億52百万円、12.0%増収の51億76百万円となり、セグメント利益は、前年同期比35百万円増益の63百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、大口ユーザー向けの販売増により増収となりました。合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂が伸長し増収を確保しました。樹脂エマルジョンは、主力のフローアポリッシュなどが低調で減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1億16百万円、15.6%増収の8億60百万円となり、セグメント損失は、11百万円(前年同期はセグメント損失52百万円)となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、国内外の販売が共に好調で大幅な増収となりました。石油添加剤は、潤滑油用添加剤や原油水分離剤などの伸長により増収となりました。金属加工油剤は、主力の水溶性切削油剤を中心に増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比4億92百万円、46.9%増収の15億43百万円となり、セグメント利益は、16百万円(前年同期はセグメント損失16百万円)となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、一般溶剤やブレーキ液用が伸長しましたが、電子材料用、医薬品製造用が振るわず微増収に止まりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、新規開発製品の販売増も含め底堅く推移し増収となりました。アクリレートは、海外向けの電子材料情報用が不振で減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1億79百万円、9.2%増収の21億28百万円となり、セグメント損失は、12百万円(前年同期はセグメント損失82百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、445億35百万円と前期末比7億15百万円の減少となりました。その内訳は、流動資産が2億35百万円減少の227億44百万円、固定資産が4億79百万円減少の217億90百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が1億87百万円の増加、受取手形及び売掛金が5億3百万円の減少、たな卸資産が99百万円の増加です。

固定資産の主な増減は、有形固定資産が5億19百万円の減少、投資その他の資産が81百万円の増加です。

一方、負債合計は348億79百万円と前期末比1億22百万円の減少となりました。主な増減要因は、流動負債で、支払手形及び買掛金が1億55百万円の減少、賞与引当金が2億7百万円の減少、固定負債で、退職給付に関する会計基準等の改正に伴う退職給付債務の見直しにより、退職給付に係る負債が2億7百万円の増加です。

純資産は、96億56百万円と5億92百万円の減少となりました。主な減少要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと四半期純損失及び退職給付に係る負債の増加に対応した利益剰余金の期首残高調整により、4億68百万円の減少、その他包括利益累計額が1億22百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は21.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績予想は、売上高は概ね順調に推移し、連結、個別共に予想を若干上回る見通しです。しかし、利益面は、個別業績は売上増加等により予想を上回る見通しながら、連結業績は、4月より商業生産を開始した上海工場製品のユーザー評価の遅れによる影響と為替差損見込額の拡大により、平成26年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想の利益の数値を下回る見通しです。

なお、通期の業績予想につきましては、変更はありません。

第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関しましては、個別業績予想の修正も含め、別途、本日(平成26年8月8日)付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しておりますのでご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に削減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1億67百万円増加し、利益剰余金が1億8百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,093	4,281
受取手形及び売掛金	9,273	8,769
たな卸資産	8,719	8,818
その他	893	874
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,980	22,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,804	8,604
機械装置及び運搬具(純額)	4,408	4,132
土地	3,281	3,281
建設仮勘定	120	149
その他(純額)	1,643	1,571
有形固定資産合計	18,259	17,740
無形固定資産	931	890
投資その他の資産	3,078	3,160
固定資産合計	22,270	21,790
資産合計	45,250	44,535

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,589	7,433
短期借入金	5,959	6,072
1年内償還予定の社債	1,020	420
未払法人税等	81	11
賞与引当金	335	128
その他	2,056	2,133
流動負債合計	17,043	16,201
固定負債		
社債	4,900	5,500
長期借入金	8,432	8,433
役員退職慰労引当金	121	93
退職給付に係る負債	3,194	3,402
資産除去債務	56	56
その他	1,252	1,190
固定負債合計	17,958	18,677
負債合計	35,001	34,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	6,259	5,790
自己株式	△3	△3
株主資本合計	8,907	8,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	488	501
為替換算調整勘定	839	702
退職給付に係る調整累計額	△63	△61
その他の包括利益累計額合計	1,264	1,142
少数株主持分	76	74
純資産合計	10,248	9,656
負債純資産合計	45,250	44,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,390	9,729
売上原価	7,312	8,594
売上総利益	1,078	1,134
販売費及び一般管理費	1,128	1,126
営業利益又は営業損失(△)	△50	8
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	22
為替差益	230	—
物品売却益	9	11
その他	8	20
営業外収益合計	267	55
営業外費用		
支払利息	79	77
為替差損	—	131
その他	31	29
営業外費用合計	111	238
経常利益又は経常損失(△)	104	△175
特別損失		
固定資産廃棄損	20	14
特別損失合計	20	14
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	84	△189
法人税等	26	42
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	58	△231
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58	△232

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	58	△231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	12
為替換算調整勘定	255	△140
退職給付に係る調整額	—	2
その他の包括利益合計	309	△124
四半期包括利益	368	△356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363	△354
少数株主に係る四半期包括利益	4	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,623	744	1,051	1,949	8,369	21	8,390	—	8,390
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	56	56	△56	—
計	4,623	744	1,051	1,949	8,369	78	8,447	△56	8,390
セグメント利益 又は損失(△)	28	△52	△16	△82	△123	15	△108	57	△50

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額57百万円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用△54百万円及び棚卸資産の調整額117百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,176	860	1,543	2,128	9,710	19	9,729	—	9,729
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	44	44	△44	—
計	5,176	860	1,543	2,128	9,710	63	9,774	△44	9,729
セグメント利益 又は損失(△)	63	△11	16	△12	56	4	61	△52	8

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△52百万円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用△185百万円及び棚卸資産の調整額110百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。